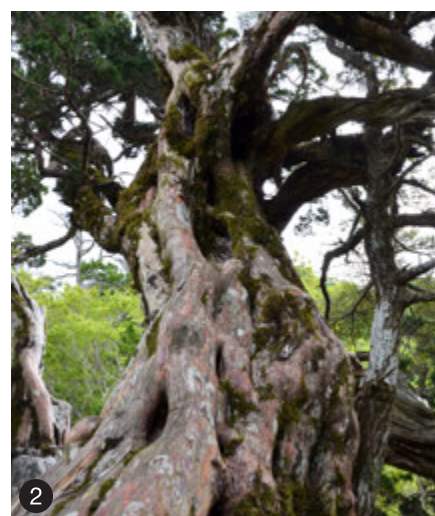
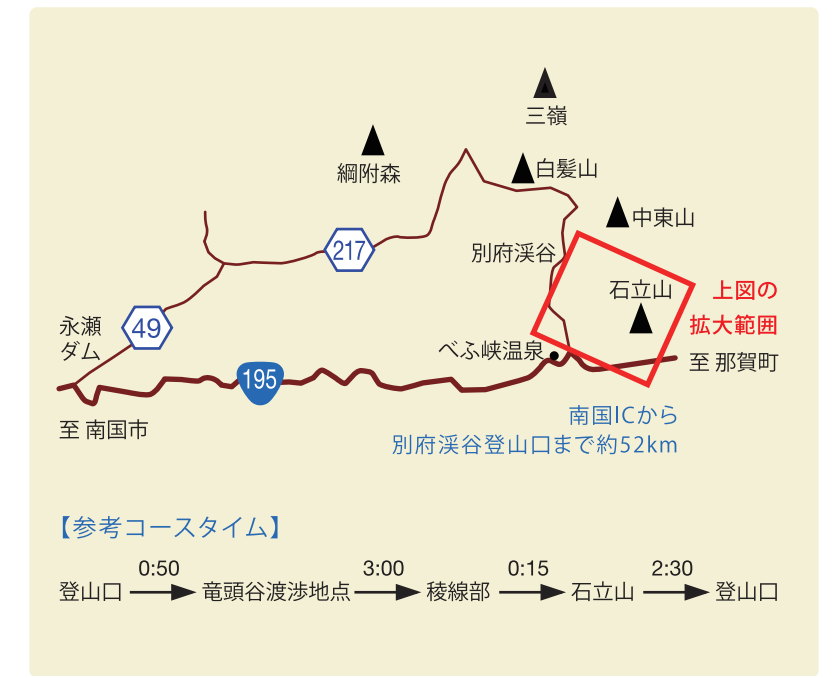
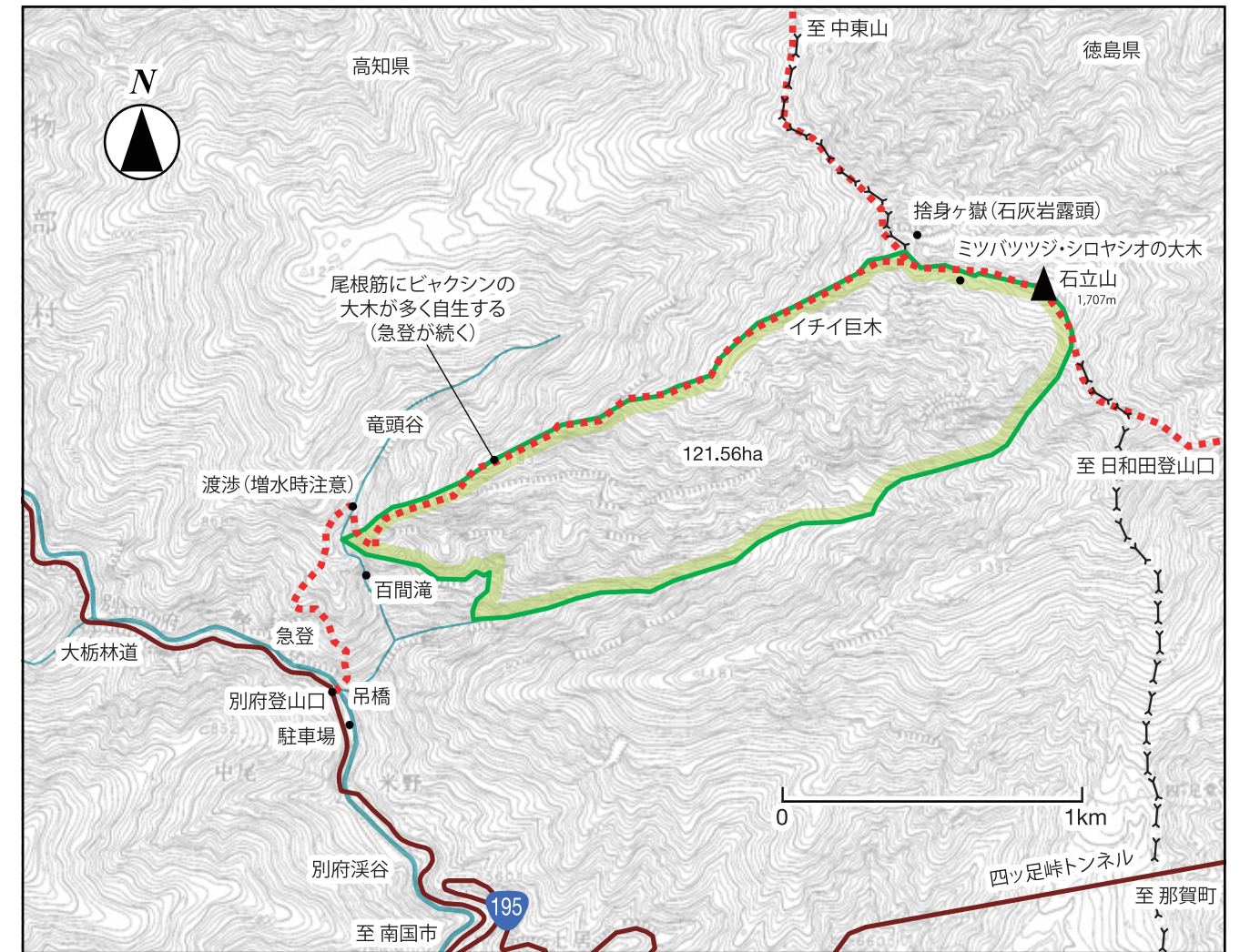


# いし だて やま 石立山植物群落保護林

石立山(1,707m)は、高知と徳島の県境上に位置する石灰岩の山です。名前の通り石を立てたような石灰岩の露頭が点在し、なかでも徳島県側の捨身ヶ嶽は足がすくむような断崖絶壁です。この捨身ヶ嶽からは、三嶺や白髪山、次郎笈などの山々を展望することができます。また、別府からの登山道沿いには、ビャクシンの木が石灰岩の懸崖に生育しており、尾根筋の老木が風雨に身をまかせ根を張っている様は、まさに「自然の芸術品」ともいえます。

写真：上空から見た保護林。付近にはツキノワグマも生息しています。



①登山道沿いの石灰岩露頭。保護林やその周辺にはこのような石灰岩の露頭が数多くあり、固有植物などが生育しています。②ビャクシンの老木。登山道沿いにこのような老木が数十本見られます。③ムシトリスミレ(7月)。食虫植物で葉から粘液を出して虫を捕まえます。四国では石立山周辺のみで生育し、個体数が極めて少ない幻の花です。また、氷河期の遺存植物です。④ヤチマタイカリソウ(6月)。イカリソウの変種で石立山では石灰岩地帯に生育しています。